



どうぶつも、歯が命！歯周病の発症率は？

■ 歯周病※1発症率の年齢推移（犬）

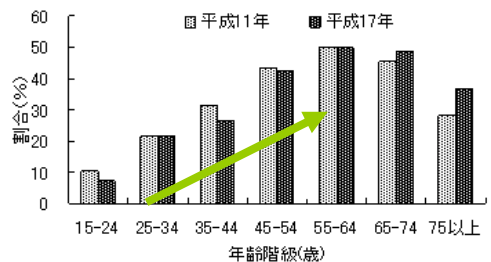
犬の0～10歳の契約を対象として、給付金請求データをもとに歯周病発症率の年齢推移を調査した※2。歯周病の発症率は、人での調査※3と同様に、加齢と共に増加していることが分かった。0～3歳では、1%未満の発症率であったのに対し、**7歳を越えると2%以上の発症率**を示していた。犬の寿命は1993年からの12年間で3.3歳伸び、2005年には11.9歳であったとの報告（東京農工大学※4）がある。高齢になっても「いい歯」ですごさせてあげるために、ご家族によるオーラルケアは重要といえる。

※1 「歯周病」には、「歯肉炎」「歯槽膿漏」「歯垢」「歯石」も含めた。

※2 2004年4月1日から2008年3月31日までにアニコムクラブの共済制度に加入したどうぶつのうち、契約期間が1年間で、契約満了または死亡解約となった犬の男の子364,423頭、犬の女の子316,616頭を対象に調査。

※3 厚生労働省 平成17年歯科疾患実態調査 歯周病の状況（図1）

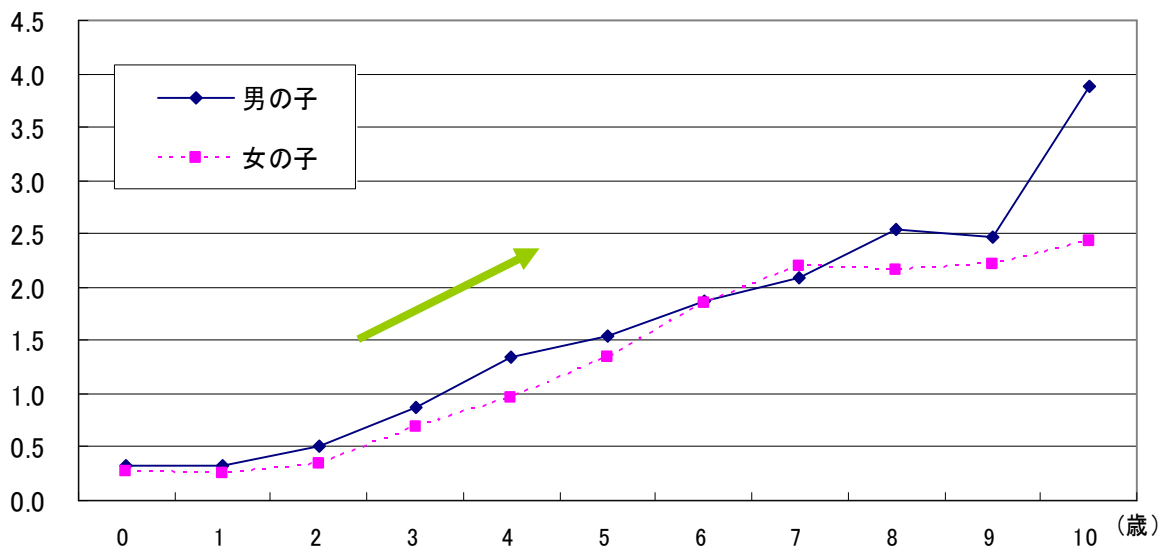
※4 社団法人日本愛玩動物協会 機関誌『愛玩動物』181号（平成17年新年号）



【図1】人における歯周病の状況

【図2】 歯周病発症率の年齢推移（犬）

発症率(%)



わんちゃんの歯周病は、
加齢と共に増加する。
高齢化時代は、オーラルケアがますます重要に。

